



TSUNAGI

つなぎ議会だより

11 November

特集 こども議会を開催

令和2年度決算審議 他

つなぎ議会だより

2021.11

発行：熊本県津奈木町議会
編集：議会広報編集特別委員会

T 869-5692 熊本県津奈木町小津奈木2123
F 0966-785351 印刷：旭印刷株式会社

夢つなぎ人

第10回

福祉タクシーつなぎを走る！
親切で丁寧な送り迎えを。

福祉タクシーさざなみ
長濱辰典さん（平国下）



障がいを持つ方や足が不自由な方、妊婦さんなど利用できます。
病院や施設の送り迎え、買い物、旅行にも対応致します。
写真 左：社員の門崎照征さん 右：長濱辰典さん

私が老人福祉施設で相談員として働いている時に、「介護が必要な人の病院への送迎で仕事を休まないといけないのがどうにかならないか。車イスが載れるタクシーの予約を取るのが難しい。」などの要望を聞き、自分が今までの経験を生かせる福祉タクシーをやろうと、一念発起しました。

福祉タクシーさざなみの強みは？

職員2人体制で、車イスが乗れるタクシーや、横になりながら乗れるリクライニング用のタクシー、合計2台の完全予約制で運行しています。職員2人とも福祉施設で10年以上の実務経験があり、家のベッドまで迎えに行き、帰りもベッドまで送る質の高いサービスを提供できます。

まだまだ津奈木町での認知度が低く、どういうタクシーなのか、誰が利用できるか、料金等をよく聞かれます。これからは福祉タクシーの知名度を上げ、今まで以上の質の高いサービスを提供できるように努めたいと思っています。

議会へ一言。

高齢者の方や、体に障害がある方など介護が必要な方々の移動や移送に関する体制を整備してほしいです。私たちも出来る事があれば協力していきます。

編集後記

今年もあと2か月となりました。新型コロナウイルス感染症も全国的な緊急事態宣言、まん延防止等重点措置により人流が制限され、地域のコミュニティである各種イベントまで中止が続いています。宣言等解除されましたが以前のような状態に戻るにはまだまだ時間がかかりそうです。これからは、ウィズコロナの生活様式が求められるます。一人ひとりが感染予防対策を取りながら家族団らん、友人知人と楽しく過ごせる年末年始を迎えたいものです。

(新立 啓介)

議会広報編集特別委員会

委員長	副委員長	委員	委員
本山 真吾	宮嶋 弘行	澤井 静代	新立 啓介
		大川 貴哉	

補正
予算

令和3年度一般会計補正予算（第2号）
は歳入歳出に
それぞれ1億6100万円を追加し、
総額39億5690万円とするものです。



昨年の「ふれあい駅弁大会」

問 元気づくり補助金の内容は。
答 四季彩・つなぎ百貨堂の周辺で、昨年行った「ふれあい駅弁大会」のようなテイクアウトと町内を歩いていただくフットパスを組み合わせたイベントを開催する。密を避けるため予約制を検討する。



シカ、イノシシ等被害防止に電柵設置

問 電気柵等設置補助金が追加された経緯は。
答 過去3年間の実績から当初予算を100万円計上したが、今年は要望が多く8月末で100%の執行率となったため、追加で100万円補正計上する。
問 有害鳥獣対策等は緊急を要する場合が多い。専決処分ができないか。
答 検討する。



問 2年連続で夏まつりは中止となり、今年度も補助金は減額されているが、来年度の増額はできないか。
答 夏まつり補助金は、内容によって審査し交付を行っている。
2年連続で中止だったので、大々的に行いたいとの要望があれば検討したい。

9月
定例会の
あらまし

令和3年第3回津奈木町議会定例会が、9月10日から28日までの19日間の会期日程で開催されました。本定例会では、令和2年度決算、並びに令和3年度補正予算、津奈木町残土処理場管理条例の制定など、28議案（追加議案5件を含む）が提出され、全て原案どおり可決・承認されました。
また、コロナ禍における地方税財源の充実を求める意見書が議員発議され、全会一致で決議しました。
なお、議会傍聴は、一般5名（延べ）でした。



倉谷工業団地

問 倉谷工業団地測量設計委託料の目的と計画は。また、団地内の産業廃棄物処分に対して、短期間での処分はできないか。
答 町内業者からの移転相談があり、販売面積と販売額の積算を行い、分筆を行う。産廃処分に関しては、財政計画に沿って行いたい。



辻地区残土処理場

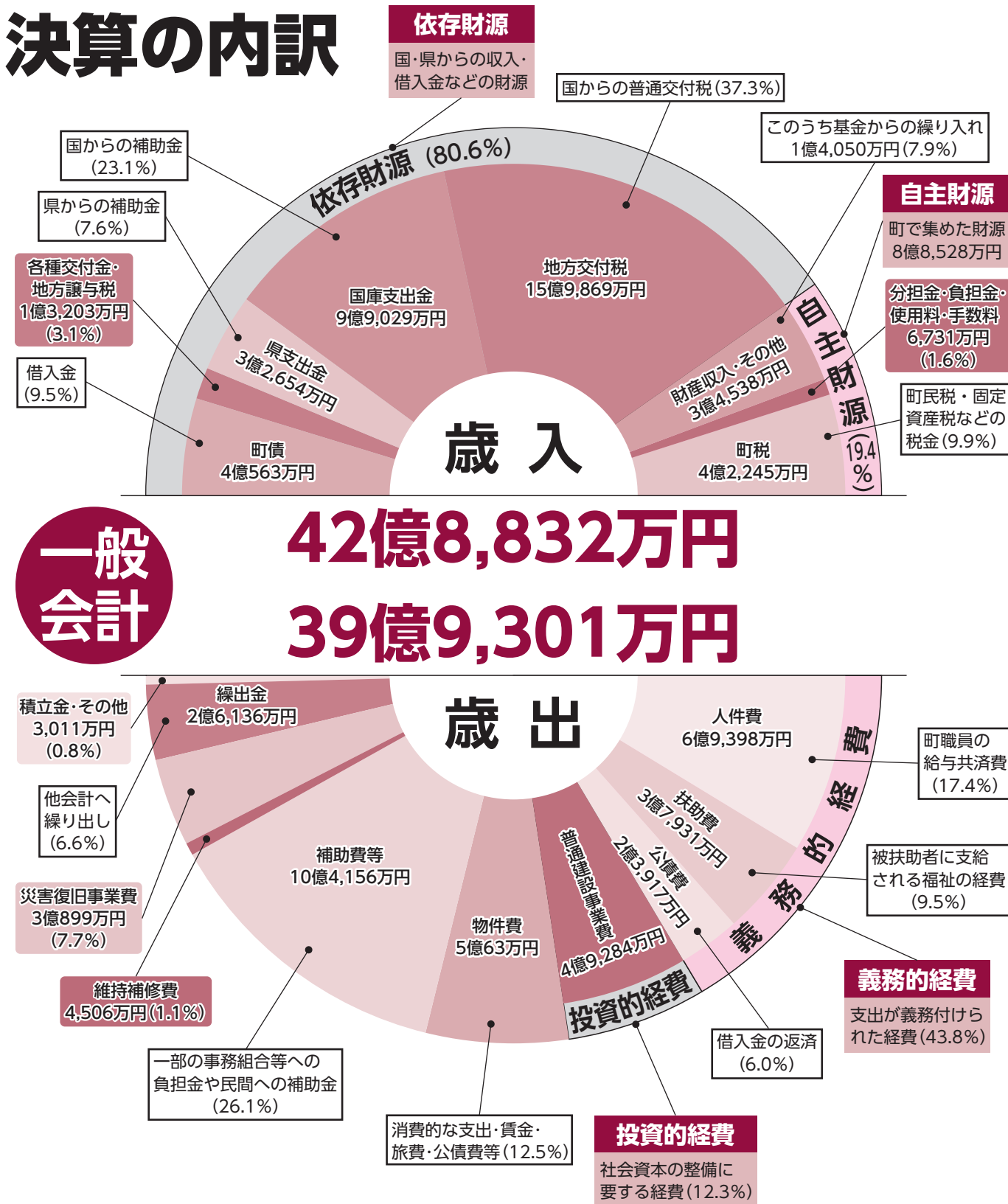
問 残土処理場はどこなのか。また、どこから持ってくるのか。管理運営は。
答 辻地区で推定5万㎡の処理能力があり、干拓地内の災害土砂や旧平国小学校他の災害復旧工事で発生する土砂を予定している。
管理運営については、事前に役場に申請をし許可を受け搬入させ、土砂の搬入量やどの現場から搬入されたか確認を行う。



問 改善センターと庁舎トイレの自動水洗化工事が計上されているが、小中学校、保育園、幼稚園にも同様の整備が必要ではないか。
答 小中学校の廊下にある水場は、掃除等に使用するため自動水洗機では使いづらい。また、中学校のトイレは最近交換したばかりであり、小学校では生活指導の一面から、水洗化は見送っている。

一般会計 歳入は前年比 32%増 歳出は前年比 28.8%増

決算の内訳



単年度収支は 178万円の黒字

令和2年度の一般会計決算の概要

- 新型コロナウイルス・令和2年7月豪雨災害のため大幅の増。
- 総務費が前年比84%増。
要因は一人10万円給付（特別定額給付金）・庁舎外壁改修工事・新型コロナ対応新産業創出プロジェクト負担金。
- 災害復旧費が3億926万円の大幅増。
- 公債費は、1,756万円（6.8%）減。

令和2年度決算は、新型コロナウイルス感染症の拡大や7月豪雨災害の影響などにより、これまでの年度とは異なる臨機応変な対応が求められることとなった。

一生懸命対応をして頂いた、役場職員の皆さんには、お礼を申し上げる。

決算書を紐解いていくと、令和2年度決算歳入は42億8832万円（前年比32%の増）となり、歳出は39億9301万円（28.8%増）となった。財源中最大額の地方交付税は、15億9869万円（6.5%増）となった。そのうち災害復旧費用等に交付される特別交付税は1億8397万円（前年度に比べ5402万円（41.6%増）であった。

本町議会では予算・決算審査時の重

要議案については、所管する常任委員会に付託して採決することとなっている。

今回の決算にかかわる議案の認定は、各常任委員会にて各課長及び担当班長の出席を求め、

- ①適正かつ効率的に執行されたか。
- ②事業の成果はどうだったか。
- ③次期予算編成や行政執行に生かされるのか。

の点を特に慎重審議をし、採決・認定された。

災害復旧関連の工事は3年後完了をめどに実施されるが、人手不足に悩む建設業者関連への配慮が必要となると思われる。人口減少、少子高齢化、防災、経済の活性化、雇用の確保、IT社会への対応など、災害復旧以外にも課題は山積している。議会は執行部とともに議論を踏まえ、町民の負託に「チーム津奈木」で応えたい。

監査委員の意見



村上義廣
監査委員

竹永 正
監査委員

それぞれの事務事業は、厳しい財政状況にもかかわらず積極的な財政の運営がなされている。令和2年7月豪雨災害によって、被災された方々の生活の再建と、被災施設の応急処置や復旧に重点を置いたものとなっている。

財政状況は比較的健康な状態にあると認められるが、今後は扶助費等の社会保障費や、公共施設等の維持補修費増加に加え、新型コロナウイルス感染症拡大の防止や疲弊した地域経済活動の活性化等に、取り組む必要があり、厳しい状況が続くものと思われる。

近年の自然災害の猛威により一層の防災減災に対する施策が不可欠と考えられるが、常に最新の情報を収集共有して、バランスのとれた財政構造の堅持に努め、合理的財政運営に努力されることを望む。

議会は決算をこう読む

総務振興常任委員会

委員会予算など審議

主な質疑

問 町営住宅の滞納金徴収はどのように行っているのか。

答 滞納者に聞き取りを行い、支払い計画を立て徴収に努めている。

問 地域おこし協力隊の活動効果は。

答 高木隊員は、美術館の取組等アーカイブ作業を行い、今年開設した美術館ホームページに生かされた。小野隊員は、オーガニックマルシェ実行委員会を立ち上げ、イベントを開催するなど、つなぎFARM事業のPRや地域産品の販売に取り組んでいる。曾地隊員は、町の各種プロジェクトの動画撮影を行い、町公式YouTubeブ

で発信するなど情報発信の強化につながっている。大平隊員は、作家との調整業務を担い、美術館開館20周年記念イベントの運営に大きく寄与している。

問 送料無料キャンペーンについて、つなぎ百貨堂以外に民間事業者を対象に公募したとのことだが、どのような方法をとったのか。

答 公募は町ホームページへの掲載と商工会を通じて各事業者へ周知し、3事業者へ支援を行った。

問 達仏のメンテナンス頻度はどうなっているのか。また、達仏作品は今後も保存していくのか。

答 西野達氏の公共作品はここであり、作者の意向も踏まえ、毎年メンテナンスを行い、末永く保存管理していく。

問 合併処理浄化槽の設置要望及び普及率はどうなっているのか。今後、補助金が減額された場合、町で負担することはできないのか。

答 設置要望は新設が大半で普及率は2年度末で77・8パーセントです。補助金は3年度から県補助が無くなり、新設に対する補助が5人槽で50万円から39万円、7人槽で70万円から56万円、10人槽で100万円から81万8千円になるので、今後検討する。

問 漁船オーバーホール事業補助金について、希望者が多いので件数を増やすことはできないのか。

答 利用者を把握してできる限り予算確保に努める。

問 避難所用間仕切りを購入しているが、家族単位でのテントの数を増やした方がいいのではないのか。

答 今後はプライバシー保護のためテント購入を考えている。



教育住民常任委員会

委員会予算など審議

主な質疑

問 ごみ箱設置負担金で4万円の歳入があるが内訳は。

答 要望があった竹中、染竹地区に設置し、負担

金を2万円ずつ徴収した。その他、日当地区にも設置したが、災害被害のため負担金は徴収していない。

問 マイナンバーカードの普及率が、低いそうだが原因は何か。また普及すると町のメリットはどうか。

答 マイナポイントのおかげで交付率は上がったが、今後、国の施策で保険証や運転免許証と一体化すると交付率が上がる可能性がある。メリットはコンビニ交付等が整備されると、窓口業務が減るかと思われる。

問 地域見守り活動推進事業の座談会実施地区は。

答 竹中、染竹、中尾、内野、桜戸、日添、上下門、

丸岡で行っている。その他にいきいきサロン等を行う地区もある。

問 シルバー人材センターの現会員数は。仕事が回ってこないと聞くが。

答 会員数は30人から25人に減少している。仕事が農繁期に集中するなど、割り振りが難しいと聞いている。出来るだけ町内の仕事は、町内の会員に回ようセンターに要望しておく。

問 津奈木保育園の民営化の状況は。認定こども園の検討はおこなったのか。また中廊下の風雨対策工事は実施しないのか。

答 民営化については、民営化検討委員会の答申を受け、進めていくことになっている。認定こども園については今後協議をしたい。大きな工事については、民営化の時期に絡んで見送っている。

る。

問 幼稚園園児が今後8人以下になった場合、どのように考えているのか。

答 現在幼稚園は、園長1人、職員1人、会計年度任用職員3人の計5人で運営している。今後、園児の増加は見込めないため、今後の課題として、検討していく。

問 児童公園内の衛生環境改善すべきではないか。

答 大規模的に改修の予定だが、トイレの改修と水飲み場についても検討する。

問 人間ドックの申し込み人数は増加しているのか。

答 令和2年度より20歳から受けられるようになり、増加傾向である。



高齢化対策の取り組みは。

問 人にやさしいユニバーサルデザインを取り入れ、施設を増やすことで、より多くの方々が生活しやすい環境をつくれると思います。どのような取り組みがありますか。

答 **ほけん福祉課長**：地域包括支援センターによる各種事業や、高齢者宅のバリアフリー化等の改修支援等を行っています。
建設課長：町の施設でも、バリアフリー化の取組を実施、今後はユニバーサルデザインに基づき誰でもが利用しやすい施設計画・改修を考えていきます。



5班 山下香澄君（末松ほのか君）

町のゆるキャラが必要では。

問 くまモンの経済効果は1244億円です。隣の水俣市にもゆるキャラはいます。津奈木に興味を持ち、移住する方々も増え、人口の増加につながると思いますが、どうですか？

答 **政策企画課長**：ゆるキャラはピークも過ぎ、経済波及効果もはっきりと計れず、くまモンのような魅力的なキャラができる確証もないため、これからの事業参入は大変難しいと思われます。町のPRは時代にあった効果的な手段で進めていきます。



2班 野田恭生君（岩崎桜太郎君）

町の人口増化への取り組みは。

問 町の課題として、人口減少がありますが、これまでの取組が、津奈木町の人口増加につながっているという実感はありません。町の人口を増やすために、どのような取り組みをされていますか。また、そのための税金の使い道の現状を教えてください。

答 **町長**：町では「住みたくなるまちづくり」実現のため、少子高齢化・人口減少対策、農林水産業の振興、地元企業育成・雇用確保、観光の振興を軸に人口減少抑制策に重点的に取り組み、必要な事業へ予算を配分しています。



3班 山本弥京君（長濱優仁君）

議会から見た
こども議会

将来の津奈木町を担う、中学校3年生35人による「こども議会」は、町長の「皆さんからの質問には、今後の津奈木町の運営に取り入れるよう検討したい」との言葉で閉会しました。中学生と思えない内容の濃い質問と堂々とした態度には、我われ議員も勉強になり、感心させられる議会内容でした。
議員を体験した子どもたちが、数年後、津奈木町で活躍することを議員一同祈ります。



コロナ禍の中マスク着用と密にならぬようにして議会は開催

こども議会を開催
生徒達から率直な質問がされました。
10月20日、町議会議場にて、津奈木中学校3年生が「議員」として班ごとに、質問事項を定め、質問が行われました。
こども議会は、議会改革の一環でもあり、議会としても、前向きに受け入れ、町からも山田町長始め、各課長の出席により「こども議員」が登壇しました。



議長を務めた雑賀永照君と山本さゆり君

教育環境の充実を。

問 津奈木町に図書館以外の勉強できる場所をつくってほしい。また、学習用タブレットを家で使えるよう、町全体に無料Wi-Fiを整備することはできませんか。

答 **町長**：町全体に無料Wi-Fi環境を整備するには膨大な数のスポット整備と経費がかかるので、地区の公民館にWi-Fi環境を整備し、少人数で学習するなどの方法があると思います。

教育長：皆さんの熱意と意欲があれば、公民館の使用を区長さんをお願いしてみてもどうでしょうか。



1班 齋藤広平君（伊藤光健君）

津奈木町の自然を守るために。

問 駅や公園のトイレの汚れ、歩道のゴミなど目にします。環境を守るためどのような対策をしていますか。また、特に干拓桜並木横の河川にたまった中洲のゴミは、どうにかできないでしょうか。

答 **住民課長**：町主体の美化作業や各種団体等のボランティア作業でゴミ等の回収を行っており、今後もボランティア清掃の促進を図っていきたい。

建設課長：昨年の7月豪雨により津奈木川から流れ込んだ土砂を熊本県が撤去しましたが、まだ河口に残っていますので、一緒に撤去する計画です。



4班 石田朔太郎君（深水瞳人君）

町の外灯設置は可能ですか。

問 町の中には、壊れた外灯や点かない場所があります。危ないと感じたり、怖い思いをすることがありますが、修理や設置をすることは可能でしょうか。

答 **総務課長**：町には、役場が管理する防犯灯と、地区が管理する防犯灯があります。修理については、お知らせ頂ければ役場とそれぞれの地区で早急に対応します。設置については、通学路などの危険な場所を中心に取り組んでいきます。



6班 三ツ石咲月君（金澤学志君）



生活に密着した 里道・水路の維持管理は

新立 啓介 議員

維持管理は地区頼み

問 里道・水路の所有者は誰になっているのか。

答 建設課長：里道・水路の法定外公共物は、平成12年3月まで国の財産であった。同年4月の法律改正により平成16年度までに町へ譲渡され、現在は町所有になっている。

問 現在、里道・水路の維持管理は、町からの材料支給により受益者をお願いしているが、高齢化が進み、共同作業も困難になっている。所有者も町に代わっているのに町での対応はできないのか。

答 建設課長：今後も維持管理上の補修や修繕は従来どおり受益者でお願いしたい。

問 豪雨等により被災した場合は誰が復旧するのか。担当者も国から譲渡後も管理者としての認識が無いように感じている。現に一部被災し危険を感じている住民もいるが不安解消のため、予防復旧工事はできないのか。

答 建設課長：生活に密着した公共性のある里道・水路等で機能維持のための復旧は、協議させていただきたい。予防工事については、単独費での実施は厳しい。



施策の実行に期待

問 山田町政2期目の基本施策4項目のうち「健康長寿のまちづくり」「耕作放棄地の対策」「農工商連携による商品開発、商社などによる販売促進の支援」「宿泊施設実証事業」の具体的取り組みと期待される効果は。

答 町長：一つ目は、地域包括支援センターの体制強化、相談の充実や独り暮らし高齢者の見守り体制充実、医療と介護のニーズ増に伴い、在宅医療と在宅介護の提供体制の構築などを推進する。介護予防活動と特定検診の充実で要介護状態への防止や健康維持が図られる。

二つ目は、町単独の耕作放棄地解消発生防止基盤整備事業の実施、耕作放棄地を活用した小中学生との連携による農業体験学習、中山間直接支払制度事業等による営農の継続や耕作放棄地の発生防止に成果を上げているが引き続き耕作放棄地解消に取り組んでいく。

三つめは、国の地方創生推進交付金を活用して、地域商社の設立による地域の販売力強化プロジェクトに取り組み、町内事業者が行う商品開発、販売促進を支援する。効果として、ふるさと納税の返礼品等新たな魅力ある商品を生み出し、地域内での経済循環を促進しながら、持続可能な地場企業の創出・育成や雇用確保につなげる。

四つ目は、四季彩周辺のエリアにトレーラーハウスやキャンプ設備を設置し、RVパークでは、キャンピングカーによる車泊など、多様な宿泊実証実験を行う。効果としては、実証実験による多様な旅行ニーズを把握し、宿泊施設の課題や可能性を探り、現実的な計画とする。

町民の元気は スポーツから

宮嶋 弘行 議員



町民体育祭が地域の活力に

問 町民体育祭はコロナと天候不順により、中止されているが、今後の取り組みは。

答 教育課長：町民体育祭を決行するか中止するかについては、体育協会の理事会、評議委員会、大会関係者で判断したい。決行するにしても、コロナ対策を十分に行い、町民の安全安心を第一に考える大会としたい。また、各大会後、体育部長との反省会で協議された内容を参考にして、今後の大会の在り方については検討する。

問 新たな種目と現段階での日程等の見直しは出ないのか。

答 教育課長：これまでの4種目で来年度は計画したい。しかしこれまでの大会で不参加の地区もある。町民体育祭の目的である地域コミュニティの維持、強化につなげられるようしっかり見定めて検討したい。

活躍できる環境整備を

問 中学校の働き方改革で部活動が社会体育クラブへの移行予定だが、今後の予定と対応は。

答 教育長：文科省が全国展開として、令和5年から休日の部活動を地域移行へのスケジュール等を示しており、全体として進んで行くと思う。今後の課題として、生徒数の減少により、部活動種目も限られつつある。地域スポーツの見直しと、新たな社会教育クラブの在り方が求められる。

問 80年代をピークに子どもの体力低下が続いているが、今後の取り組みについて。

答 教育長：運動する子どもとそうでない子どもの二極化がみられ、全体的に体力低下につながっている。本年度2月実施の「運動・スポーツについてのアンケート」を生かして、楽しく参加しや

すい運動の環境づくりを検討したい。

早期自粛解放に向けて

問 ワクチン接種率について。

答 ほけん福祉課長：9月10日時点で65歳以上の対象者1890人に対して、1回目接種済みが1772人で93.8%、2回目接種が1750人で92.6%となっている。12歳以上に関しては、4116人に対して、1回目接種済みが3460人で84.1%、2回目接種が3100人で75.3%となっている。

問 12歳以上の接種対象者には、小学6年生（12歳）から中学生も含まれるが、対象になっているが、教育委員会からの推奨等は行っていないのか。

答 教育課長：ワクチン接種については、あくまでも任意のため保護者での判断となる。重要性は、しっかりと感じているので協力していくつもりである。感染者が確認された場合の対応としては、部活動を含めた学校業務を全てストップさせ、保健所との連携による全容の解明、スクールバス、教室等の消毒作業、必要であるならば休校の準備を熊本県芦北教育事務所と協議しながらやって行く。

問 未接種者に対する推奨とワクチン確保の状況は。

答 ほけん福祉課長：接種に関しては本人の判断によるもので、蔓延予防の観点から、正しい情報を伝えることで、接種への理解をお願いするものである。集団接種についても、日曜日に接種が出来るように実施する予定である。ワクチンの確保状況は、現時点で、水俣市、津奈木町管内分として、約1000人分を確保し、9月下旬に新たに1170人分が配送の予定である。



町道男島線 通学道路に歩道設置を

柳迫 好則 議員

通学道路の安全対策

問 あんさんく前から役場前までの区間は通学道路となっているが、交通量も多く通学に影響がある。この区間に、歩道の設置はできないか。

答 建設課長：8月30日に学校関係者と国・県・町の道路管理者、警察の担当者が集まり、津奈木町通学路交通安全推進会議が開催された。

結果、津奈木駐在所の前の横断歩道を渡り、グラウンド前の歩道を歩き、役場庁舎の西側の横断歩道を渡り、役場裏のさくら団地内の歩道を通学するルートで、学校側が保護者と協議を行うことになった。

協議の結果を受けて、役場までの歩道整備について検討をしたい。

問 歩道が無理ならば、ガードレールやガードポール等を早めに設置して、安全対策をとれないのか。

答 建設課長：車道の外側線の横にもう一つ色つきラインを引くことで、車道と歩道を区別することは交通安全施設の工事費の一環で対策はできると思うが、検討させていただきたい。



安全対策が必要と思われる通学路

堆積土砂の撤去は

問 令和2年7月豪雨災害における復旧として、津奈木川河口付近の堆積土砂の撤去が行われたが、災害以前の土砂はそのままである。今回は、どのような内容で工事をされたのか。

答 建設課長：土砂が流れ込んで、流れを阻害するための対策として、堆積土砂を浚渫し管外に搬出する目的で県が実施した。今回は、河口からあけぼの橋に向かって約7000立米の浚渫工事を実施している。

問 元々の土砂は、搬出先がないため現在の場所に積んでいると説明を受けている。今回撤去できなかった理由は。また、一回で無理ならば、何年かの計画を立てて排出できないのか。

答 建設課長：県に確認をしたら、管内の河川掘削工事の量が増えたことと、土捨て場までの運搬距離が長くなり予算不足が生じた。

現在、管内でも実施できていない箇所もあり、今後の施工が厳しい状況であるが、引き続き予算要求を行っていくと回答を受けているので、町も強く要望していきたい。

答 町長：洪水に関して被害を受ける可能性があるため、残りの箇所も陳情していきたい。



土砂撤去を望む津奈木川河口

農業機械の共同利用で、 耕作放棄地解消を

本山 真吾 議員



最新の津奈木町農業の現状はどうか

問 昨年集計された、農業センサス調査の結果は。

答 農林水産課長：農業を取り巻く情勢は厳しいものと認識している。

津奈木町の農業の現状

項目	2015	2020	増減
総農家戸数	389	327	-16%
販売農家戸数	233	189	-19%
専業農家戸数	99	40	-60%
農家就業人口	384	295	-23%
認定農業者数	66	57	-14%

熱帯果樹アボカド栽培の現状はどうか

問 アボカド栽培の取り組み状況は。県指定作物でないが、今後防寒を兼ねた施設等の補助は行うのか。

答 農林水産課長：現在生産者12人で栽培を開始し、セミナーの開催、苗木の配布を行っている。まずは栽培技術の確立を行い、見通しが立ったのちハウス助成を検討したい。

答 町長：アボカドの奨励はこれからも応援していく。

スイートスプリングの現状はどうか

問 スイートスプリング栽培展開は今後どうするのか。

答 農林水産課長：平成17年に部会が設立された。当初は18人であったが現在13人で生産している。生産量は平成30年が36トン、令和2年が27.8トンで生産者・生産量とも減少傾向となっている。今後は、担い手確保と基盤整備の推進等により生産量の確保や販売促進等に支援を行っていく予定である。

答 町長：町の特産品として今後もできる限り支援をしていきたい。

農業機械の貸出しを進めたらどうか

問 耕作放棄地が毎年増えているが、要因に草刈りや剪定枝等の処理などの重労働が負担となっている。解決する高性能機械は多数存在するが、いずれも高額である。自己所有の機械更新時や、購入断念をきっかけに離農が進む要因になっている。他の行政・農業委員会・JAなどでは、ハンマーナイフモアやウッドチップパーなどの高性能機械をレンタルすることで、農作業の効率化や労力軽減の解決に取り組んでいる事例も多数見受けられる。農業者の所得向上と耕作放棄地解消など農業支援政策として農業機械共同利用への補助政策はできないものか。

答 町長：今後、検討が必要だと思う

【7月9日古中尾地区で行われた農業機械実演会のようす】
①～③（参考価格※中間価格帯機種）



①乗用水田除草機
（423万円）



②ハンマーナイフモアー
（53万円）



③乗用モアー
（99万円）



【ウッドチップパー】
（94万円）

一歩進んだ議会改革
タブレット研修を開催



議会改革委員会では、去る7月28日に、昨年より検討課題のひとつとして協議していたタブレット研修を、全議員と執行部を含め熱心なリモート研修を行いました。今後の議会運営の中で、「ICT化」と「ペーパーレス化」による、業務の効率化を目的として行った。また、災害時の対応とコロナ過での会議等にも活用出来るように、取り組む必要がある研修でもありました。

議会研修など
リモート化進む



今回の新型コロナウイルス禍を通じて、全国の地方議会では、密を避けるため、パソコンやタブレット端末機器を利用して、会議・研修などの開催する動きが活発化しています。本町議会においても今回のタブレット研修をはじめ、県議長会議員研修会・県議長会広報研修会などリモート研修が盛んになってきました。社会のデジタル化が急激に進む中、災害時や今回の感染症蔓延時の本議会の開催も視野に、検討する時期となっています。時代の変化に柔軟に対応し、議会は、使命を果たせるよう自己改革を進めていきます。

議会広報編集特別委員会

「伝わる議会だより」をめざし
研修会を開催

8月5日、役場3階会議室にて、議会広報編集特別委員会では、議会だよりの編集技術の向上を目的に、研修会を開催しました。

町民の皆さんに、年4回発行の議会だよりを通じ、議会での出来事をわかりやすく伝えることをめざしています。

編集は議員による委員会にて行っていますが、専門的な知識に乏しく、毎回苦勞をしています。

そこで、今回の研修会は、昨年県広報コンクールで入賞を果



政策企画課 田北明寛主事

たした政策企画課、田北明寛（きたあきひろ）主事を講師に招き、「伝わる」から「伝わる」紙面づくりをテーマに、議会だよりの編集スキル向上を目的として、プレゼンテーション形式にて行なわれました。内容は

- ① そもそも広報とは
- ② 行政広報の課題
- ③ 一目で分かる「見せ方」のコツ
- ④ 誰もが読みやすい「書き方」
- ⑤ 明日からできる広報改革

で行なわれ、過去の広報誌についての確かなアドバイスは、今後の紙面づくりに大いに役立つ内容でした。

身近な職員の仕事への熱意に、編集委員の「やる気」も高まった充実した研修会でした。

議会のうごき

【9月】

- 3日 議会運営委員会
- 10日～28日 第3回議会定例会
- 28日 議会全員協議会、議会広報編集特別委員会

【10月】

- 1日 水俣芦北広域行政事務組合議会定例会
- 6日 県議長会議員研修会
- 7日、13日、22日 議会広報編集特別委員会
- 13日 議会改革特別委員会
- 20日 教育住民常任委員会
- 21日 総務振興常任委員会

【11月予定】

- 5日 県議長会広報研修会
- 12日 熊本県後期高齢者医療広域連合定例会及び全員協議会
- 中旬 総務振興常任委員会、教育住民常任委員会
- 中旬 議会改革特別委員会

【12月予定】

- 上旬 議会運営委員会
- 中旬 第4回議会定例会



吉田松陰

え、どんな身分の者にも共通して敬う人物として「君主」「主君」から君（くん）をつけるようになったそうです。

“ちょっとためになる”

議会の話

「内閣総理大臣 岸田文雄君」国会では議長が君をつけて呼んでいます。一般的には男の子の名前を呼ぶとき、「○○君」と呼ぶことが普通ですが、議会では、すべての名前に君をつけて呼ぶことが慣例となってきました。

ルーツは、江戸時代末期活躍をした吉田松陰が考えていたと言われているようです。松陰は身分の違いにより対等な議論が行えないと考

UDフォントを採用しました

今回から、ユニバーサルデザインのUDフォントを採用しました。「高齢者や視覚の狭い方にもやさしいデザインの字体となっています。広報研修会での、講師からの提案で、さっそく採用しました。

デジタル文字は美しく進化する
デジタル文字は美しく進化する
デジタル文字は美しく進化する